

令和5年度

事業報告書

社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会

※令和5年度 事業報告、総括

令和5年度は5月に新型コロナ関連が5類に移行し、ようやく社会活動が再開されていく中で、本会の事業も本来の形態へ戻していくとともに、地域での福祉活動の再開に併せて関わりを持っていきました。

しかしコロナ禍において対応してきた特例貸付事業については、まず生活面に厳しさを持つ世帯への貸付の即効性に重きが置かれたため、貸付前後の世帯状況の把握が十分ではなく、折からの物価高騰の影響もあり償還が困難な状況が想定されました。

令和5年1月からの償還開始とともに県社協を中心とした「フォローアップ事業」が始まり、償還に関する相談、あるいは生活状況が不明な世帯についてその後の状況を把握し、償還に関する相談（償還猶予や免除を含む）の取り組みを開始し、今後10年間にわたって取り組んでいくことになります。

関連して、生活困窮世帯へ食品を無料で提供する「フードパントリー」、その前段として家庭等から使いきれない食品を提供いただく「フードドライブ」について関係機関の協力を得ながら実施しました。

小地域における福祉活動は徐々に再開され、生活支援コーディネーター（本会では「地域ささえあい推進員」の名称で活動）が中心となりつながりを継続しつつ退職シニア層を対象とした「退職シニアでつながろう 栗東おやじ塾」を開催するなどの取り組みを行いました。

また、令和6年度からの重層的支援体制整備事業の受託に先駆け、ひきこもりに関する取り組みを開始し、専門相談の実施、住民への啓発活動などに取り組みました。

以上、令和5年度の事業のポイントを中心とした総括とし、今後も「つながろう つなげよう 安心のまち りっとう」を基本理念に、今後も地域福祉活動の推進を図ってまいります。実施した事業や活動の詳細については、次頁以降のとおりです。

事項別事業

1. 会務の運営

社会福祉法人としての社会的責務を果たし、適切な運営を図るとともに、事業や地域福祉の推進のため、次の会議を開催しました。(特記以外なごやかセンターで開催)

(1) 理事会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和5年5月23日	理事 5名 監事 2名 職員 6名	第1号議案 令和4年度事業報告について 第2号議案 令和4年度一般会計補正予算及び資金収支決算について 第3号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】 ○協議、報告事項 ・次期理事・監事及び臨時理事会の開催について(会長・副会長・常務理事・顧問の選任) ・第三者委員の一部交代による選任報告 (コミュニティセンター治田東)
6月13日	理事 5名 監事 2名 職員 2名	第4号議案 会長・副会長・常務理事の選任について 第5号議案 顧問の選任について 【全議案可決】 ○協議、報告事項 会長・常務理事の令和4年度下半期職務執行報告
12月12日	理事 5名 監事 2名 職員 8名	○協議、報告事項 令和5年度上半期事業・決算報告、評議員会への提出案件について【了承】
令和6年3月19日	理事 7名 監事 2名 職員 6名	第6号議案 令和5年度補正予算について 第7号議案 令和6年度事業計画について 第8号議案 令和6年度予算について 第9号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】 ○協議、報告事項 会長・常務理事の上期・下期業務報告【了承】

(2) 評議員会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和5年4月24日 【書面審議】	評議員 8名	第1号議案 理事の選任について【可決】
6月6日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 6名	第2号議案 令和4年度事業報告について 第3号議案 令和4年度一般会計補整予算及び資金収支決算について 第4号議案 理事・監事の選任について 【全議案可決】
12月19日	評議員 8名 理事 2名 監事 2名 職員 8名	令和5年度上半期事業・決算報告【了承】
令和6年3月26日	評議員 8名 理事 2名 職員 5名	第5号議案 令和5年度補正予算について 第6号議案 令和6年度事業計画について 第7号議案 令和6年度予算について 【全議案可決】

(3) 監事会の開催 (なごやかセンターで開催)

期 日	出席数	内 容
令和5年5月12日	監事 2名 理事 1名 職員 5名	令和4年度事業及び決算監査 (社協及び共同募金委員会)
11月22日	監事 2名 理事 1名 職員 6名	令和5年度上半期事業及び決算監査 (社協及び共同募金委員会)

(4) 正副会長会の開催 (なごやかセンターで開催)

期 日	内 容
令和5年5月16日、12月5日、令和6年3月12日	理事会・評議員会提出案件の協議
上記の他、月1回定例で管理者会議として開催 令和5年4月3日、6月13日、7月6日、8月10日、 9月7日、10月10日、11月7日、 令和6年1月9日、2月6日	執行上の協議

(5) 運営協議会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和5年8月8日	委員 22名 役職員 14名	委員長・副委員長の選任、本会各課事業の状況報告 (甲賀市社協より8名視察あり)

(6) 調整会議兼（組織・運営）検討会の開催

本会の中長期的な財政見通しや運営、職員配置等を検討し、適切な運営体制を構築すべく検討会（調整会議兼検討会）を実施し、市とも随時協議を行っています。

令和5年4月11日、5月23日、6月27日、7月25日、8月22日、9月26日、
10月24日、11月28日、12月26日

令和6年1月23日、2月13日、27日、3月12日

(7) 会議・研修等の開催、出席

月	社協・市・関係機関等	県・湖南 他
定期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理者会議、常務理事・課長・課長補佐調整会議兼検討会、事業課会議、ヘルパ一定例会、市役所各担当課との定例協議（各月1回） ・ 各課内会議 ・ 学童保育所常勤指導員会議 ・ 栗東市民生委員児童委員協議会連合会役員会、正副会長会 ・ 生活困窮者自立相談支援調整会議（各随時） ・ 栗東市要保護児童対策地域協議会実者会議（毎月定例） 	
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体自治会長会 ・ 栗東市事業所人権教育推進協議会役員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湖南地域社会福祉連絡協議会役員会 ・ 草津・栗東安全運転管理者協会監事会、理事会 ・ 事務局長・相談支援課長等合同会議
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会福祉法人あうん評議員会 ・ 済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 ・ 栗東市事業所人権教育推進協議会総会 ・ 栗東市赤十字奉仕団70周年記念大会 ・ 済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2023年度部落解放・人権政策確立要求びわこ南部地域実行委員会 第33回定期総会 ・ 市町社協地域福祉・相談支援担当部課長会議 ・ 滋賀県相談支援従事者初任者研修

	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市民生委員児童委員協議会連合会総会 ・栗東市心身障害児（者）連合会総会 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市事業所人権教育推進協議会役員会・啓発広報部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・県社協地域福祉権利擁護事業要綱改正説明会 ・市町社会福祉協議会生活福祉資金実務研修会 ・滋賀県相談支援従事者初任者研修ケアプラン作成研修 ・第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会栗東市準備委員会第2回総会及びわた SHIGA 輝く国スポ・障スポ栗東市実行委員会第1回総会・第1回常任委員会 ・滋賀県生活支援コーディネーター基礎研修
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市障がい福祉計画等策定委員会 ・栗東市バス対策地域協議会 ・栗東市立ひだまりの家運営委員会 ・栗東市要保護児童対策地域協議会代表者会議 ・栗東市子ども・子育て会議 ・平和祈念栗東市戦没者追悼実行委員会 ・栗東市民生委員推薦会 ・栗東市の子ども・若者支援に関する作戦会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会役員会 ・災害ボランティアセンターコーディネーター基本研修 ・クラウドファンディング講座 ・草津栗東認知症連携カンファレンス～老年期の幻覚・幻想～に関する研修 ・介護福祉人材採用力アップ事業所セミナー パワーポイントで魅力的な採用資料を作ろう!
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市表彰審議会 ・栗東市自殺対策推進協議会 ・栗東市高齢者保健福祉推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県相談支援従事者初任者研修 ・企業トップクラス層を対象とした「人権問題研修会」 ・チームで街をデザインする包括的な支援体制・重層的支援体制整備事業 zoom オンラインセミナー
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念栗東市戦没者追悼式 ・栗東市事業所人権教育推進協議会役員会・啓発広報部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県相談支援従事者初任者研修 ・社協職員オンラインサロン「借受人調査を通じた多機関連携による子育て世帯支援」 ・正副安全運転管理者講習

		<ul style="list-style-type: none"> ・市町社協事務局長会議 ・認知症の方の意思決定支援研修 ・社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所「フリースペース」にかかる意見交換会
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市障がい福祉計画等策定委員会 ・栗東市高齢者保健福祉推進協議会 ・栗東市人権擁護審議会 ・栗東市高齢者生きがいと健康づくり推進会議第25回高齢者グランドゴルフ大会 ・栗東市市民社会貢献活動促進基金補助金運営委員会・審査委員会合同会議、元気創造まちづくり事業、未来へつなぐ市民活動応援事業審査会 ・大宝西ふれあい解放文化祭 ・栗東市総合計画審議会及び栗東市地方創生懇談会 ・身寄りなしケース検討会 ・栗東市地域福祉計画委員会ならびに栗東市地域福祉活動計画委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県市町社会福祉協議会会長会 会長・事務局長合同会議 ・滋賀県視覚障害者福祉大会 ・滋賀県更生保護女性連盟第二ブロック研究協議会 ・滋賀県知的障がい者教育福祉振興大会 ・湖南地域社会福祉連絡協議会幹事会 ・滋賀県相談支援従事者現任者研修
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市障がい福祉計画等策定委員会 ・市政功労者表彰式 ・栗東市美術展表彰式 ・じんけんひろば ふれあい文化祭 ・フードパントリー ・済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 ・第7期栗東100歳大学 ・栗東市事業所人権教育推進協議会企業内人権・同和問題研修会 ・「栗東市地域ケア従事者研修会」～地域で共に進める ACP～ 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県社会福祉協議会 表彰式・感謝状贈呈式 ・滋賀県相談支援従事者現任者研修 ・地域福祉権利擁護事業 生活支援員／新任職員フォローアップ研修会 ・済生会支部滋賀県済生会地域懇談会 ・改正障害者差別解消法に係る事業者向け説明会 ・全国介護事業者連盟滋賀支部設立総会及び記念講演 記念講演「介護保険法改正及び24年同時改定、大改革のゆくえと介護保険事業者生き残り戦略」
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・出張フードパントリー ・障害者週間啓発・推進事業街頭啓発 ・栗東市介護支援専門員向け 災害時対応計画(BCP)に係る救命救急講習 	<ul style="list-style-type: none"> ・滋賀県相談支援従事者現任者研修 ・介護支援専門員連絡協議会会員研修 家族支援研修会～仕事と介護の両立支援について～

	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市高齢者生きがいと健康づくり推進会議第25回高齢者生きがい実践交流会 ・ひきこもりに関する講演会 ・栗東市事業所人権教育推進協議会こころの健康づくり講演会 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市要保護児童対策地域協議会代表者会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス苦情解決研修会中級編 ・市町社会福祉協議会事務局長会議【オンライン】 ・市町共同募金会担当者連絡会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・栗東市立ひだまりの家運営審議会 ・栗東市人権擁護審議会 ・栗東市障がい福祉計画等策定委員会 ・栗東市総合計画審議会及び栗東市行政改革懇談会 ・栗東市事業所人権教育推進協議会 企業内人権・同和問題研修会 ・第7期栗東100歳大学卒業式 ・栗東市地域包括支援センター・地域密着型サービス運営協議会 ・栗東市障がい者の住みよいまちづくり推進協議会 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会役員研修会 ・市町社会福祉協議会事務局長会議【オンライン】 ・ひきこもり支援フォーラム ・福祉サービス苦情解決研修上級編
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい ・総合福祉保健センター防火対策委員会、消防総合訓練 ・元気創造まちづくり・未来へつなぐ市民活動応援事業成果報告会 ・栗東市社会貢献活動促進基金補助金運営委員会 ・社会福祉法人あうん評議員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・湖南地域社会福祉連絡協議会幹事会 ・市町社会福祉協議会事務局長会議【オンライン】

2. 広報等啓発活動の展開

社会福祉協議会活動の啓発、住民の社会福祉に対する意識高揚を図るため「栗東ふくし」を全戸配布した他、ホームページによる啓発を行いました。

また、広報の作成とともに社協全般の広報活動について職員が協議する場として広報

委員会を設置し、開催しています。

(1) 広報紙「栗東ふくし」の発行 6回（奇数月1日発行、全戸配布）

(2) ホームページの運営、公式LINEの運用

(3) 広報委員会の開催（毎月1回）

各部署からの職員で構成する広報委員会により、「栗東ふくし」広報の編集やホームページ内容等について協議、検討を行いました。

(4) 第51回栗東市社会福祉大会の開催

地域福祉の推進・向上に多大な貢献や多額の浄財を寄附いただきました個人並びに団体を表彰し、その功績を称えました。

令和6年2月25日 9:30~12:00 なごやかセンター 128名参加

○式典・被表彰者表彰

【栗東市社会福祉協議会会長表彰】

社会福祉功労者9名、優良福祉活動団体7団体、
社会福祉事業協助者8名・6団体

【滋賀県共同募金会栗東市共同募金委員会会長表彰】

共同募金協助者3団体

共同募金啓発ポスター最優秀者1名、優秀賞2名、佳作5名

（表彰審査会を令和5年12月25日に開催）

○記念講演

「知ってほしい ヤングケアラーについて」

講師：NPO法人子どもソーシャルワーカー理事長 幸重忠孝氏

3. 心配ごと相談事業

市民の方が専門相談などで気軽に相談できる体制を図りました。今後の方向性について、相談員からアドバイスをいただく形で、心配ごとの解決への糸口をつかむものとして開設しています。

	開設日	相談件数
専門相談		
法律相談	第2・4木曜日	73件
司法書士相談	毎月20日	24件
税金相談	第2水曜日 (5,7,9,11,12,1,2,3月)	15件

ひきこもり相談事業 よりそい支援 ゆっくりっと (詳細後述)	毎月第3水曜日 (11月～新規開設)	19件
電話・窓口相談	随時(職員対応)	259件
合計		410件

4. 地域福祉権利擁護事業【滋賀県社会福祉協議会からの受託事業】

軽度の認知症高齢者、知的障がい、精神障がいのある方等で自らの判断能力に不安がある場合、あるいはひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、寝たきりの高齢者、重度身体障がい者等、日常生活を営むうえで権利侵害を受ける等の課題がある場合に、福祉サービスの利用援助、日々の金銭の出し入れ、書類等の預かりサービスを実施しました。福祉・行政・医療等、様々な関係機関と連携を図りながら、援助を進めています。

	相談・援助件数	契約件数	本年度新規 契約件数
認知症高齢者	2,318件	11件	3件
知的障がい者等	1,826件	23件	4件
精神障がい者等	2,966件	14件	—
その他	323件	2件	—
計	7,433件	50件	7件

●関連会議等への参加

期 日	内 容	場所等
令和5年 5月24日,30日	地域福祉権利擁護事業生活支援員／新任職員研修会	長寿社会福祉センター
7月25日	第52回栗東市人権教育研究大会分科会での発表 事前打合せ	市役所
8月5日	第52回栗東市人権教育研究大会分科会での発表	葉山中学校
9月22日	地域福祉権利擁護事業担当者(専門員)会議	長寿社会福祉センター
11月14日	地域福祉権利擁護事業 生活支援員／新任職員 フォローアップ研修	龍谷大学瀬田キャンパス
令和6年 1月30日	地域福祉権利擁護事業専門員会議	長寿社会福祉センター

5. 小地域福祉活動の推進

令和 5 年度はようやくコロナ禍から明け、小地域におけるふれあいサロン等の開催が再開されてきました。

そのような状況の中、地域ささえあい推進員が中心となり、進め方を迷っておられる地域の活動者を支援するとともに、新たに活動を興そうとしている人材の発掘と支援のための講座等の実施に努めました。

(1) 出前講座等の実施

※その他、地域への関わり状況については、12. 高齢者福祉活動 (5) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター）の項と資料編 1 参照。

(2) サロン交流会の開催

地域でサロン等地域活動を展開している団体や活動を始めたい思いを持っておられる方々の交流会を開催しました。

サロンで役立つゲームを紹介・体験いただいた後に、グループで日頃の悩み等を話していただきました。

令和 6 年 3 月 26 日 13:30～15:30 なごやかセンター

50 名参加（45 名+「おやじ塾」修了メンバー 5 名）

- ・ボランティアグループによるミニコンサート
- ・お楽しみゲーム体験
- ・活動報告、情報交換会 等

(3) 地域振興協議会事業への助成及び参画（地域福祉活動支援事業）

地域福祉活動計画に基づき、「つながろう つなげよう」の視点から各地域振興協議会事業の企画、運営について「地域ささえあい推進員」が協力体制をとり、会議等への参加とともに、事業に対する助成を行いました。

【申請、助成状況】

学 区	内 容
治田学区	治田ふれあい農園 治田学区地域振興協議会ふれあい部会主催で、秋に予定している治田ふれあい広場の一環として、地域の方々や治田学区の幼児・小学生及び学童に通う子ども達がサツマイモの栽培を通して地域住民と交流できる場とする。加えて自然にふれあうことにより、自然の仕組みや豊かさを学ぶ場として企画。また、今年度は落花生も植えて自然の不思議を知ってもらう。 10 月頃に苗植えを行った参加者でサツマイモを収穫する。収穫したサツマ

	<p>イモはふれあい広場で焼き芋に加工して参加者に配付する。または一般に販売をする。</p> <p>〈治田ふれあい農園サツマイモの苗植え体験作業・収穫体験作業、治田ふれあい広場にてサツマイモを活用する事業〉</p>
治田西学区	<p>「はるにし文化祭」</p> <p>自主活動の実績の成果の発表及び、治田西学区民相互のふれあいと絆の場を目的とする。</p> <p>・作品展示（コミセン利用団体、地域住民の一般募集、コミセン自主企画、地振協5部会の取組みについて（掲示や作品展示）、川柳コンテスト（学区内住民対象）、子ども川柳（学区内小学生対象）、社会を明るくする運動のキャラクターぬり絵（学区内の5歳児対象）、はるにしの木を作成（それぞれの思いを込めて花（用紙）に書き、はるにしの木を咲かせる）、交通安全教室（環境交通安全部会主催、草津警察署、草津栗東交通安全協会が協力）、抽選会</p>
金勝学区	<p>「ふれあいサロン事業」</p> <p>地域の絆づくりとして高齢者、地域住民がふれあいを通じて、生きがいつくりや健康づくりに意識を高め、いきいきとしてもらうことを目的とする。</p> <p>・シニア卓球教室、認知症予防講座、フレイル予防講座、ニュースポーツ講習会、グラウンドゴルフ大会、健康ボウリング大会、クラフト講座等</p>
葉山東学区	<p>ふれあいサロン事業「葉山東スポーツウェルネス吹矢クラブ」</p> <p>性別・年齢問わず誰でも気軽に楽しむことができるスポーツである吹矢を通して、地域の方々の「つながり」や「交流」を図る。更にこのスポーツ知名度を高めることにも繋がる。</p> <p>毎月4回の活動日にコミセン葉山東ホールを提供し、「スポーツウェルネス吹矢」を楽しんでいただく。地域活動の再開を進めていく中で、地域の方々の「つながり」を深める事業となるように展開していく。</p>
葉山学区	<p>「つながろう葉山 地域の絆を深めよう」活動推進事業</p> <p>葉山学区の地域住民の子どもから大人・高齢者まで、コミセン葉山をくつろぎの場・楽しみ場・癒しの場として、多くの方に来館していただける居場所づくりとする。</p> <p>癒しのロビー空間開設、花いっぱい運動事業、図書室の充実（特に絵本や児童書）、一人暮らし高齢者宅への訪問、見守り事業</p>
大宝学区	<p>「飛び出し坊やを作ろう」</p> <p>住民の生活道路の安全点検を行い必要に応じ、「ストップマーク」や「飛び出し坊や」の作成設置を行う。</p> <p>「通学路点検～通学路を歩いてみよう～」</p>

	学区内には中山道が通っており、道幅は狭く車の通行量も多い。子どもの通学や高齢者の日常生活における事故防止啓発活動を行う。
大宝東学区	<p>「安心・安全・環境部会の地域安全点検における事故・犯罪防止啓発活動」</p> <p>大宝東学区における住民相互の連帯感を育み、地域社会活動への参加意識を高め、安心・安全活動の充実で交通事故と犯罪防止の啓発活動の推進で地域の課題等を解決していく。</p> <p>〈大宝東学区通学・通園路点検〉</p> <p>子どもたちを交通事故から身を守るために、地振協では通学・通園路の点検活動を実施する。主に「子ども 110 番の旗」設置宅・事業所での旗交換と対応マニュアルの配布。また「飛び出し注意ぼうや」看板が破損・摩耗・紛失していないか点検とその交換。また、路面貼付の飛び出し注意ステッカーは、各自治会から必要枚数を報告してもらい、地振協でまとめて購入する。</p>

(4) 地域福祉活動計画委員会

第3次地域福祉活動計画（令和5年度から5年間）の令和5年度上半期及び令和6年1月まで進捗状況と第3次同計画の策定について計画委員会を開催した他、委員によるグループワークを行いました（栗東市地域福祉計画委員会と一体開催）。

（コミュニティセンター治田東で開催、各14名出席）

期 日	内 容
令和5年 10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・「第4期栗東市地域福祉計画」に係る令和5年度事業計画（上半期）の進捗管理について ・「第3次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和5年度事業計画（上半期）の進捗管理について ・報告事項 重層的支援体制整備事業について ・グループワーク テーマ「活動している団体で、①断らない相談支援体制の構築、②参加支援の充実、③地域づくりの支援をどのように関わることが出来るか」
令和6年 3月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・「第4期栗東市地域福祉計画」に係る令和5年度事業計画の1月末時点の進捗管理について ・「第3次栗東市地域福祉活動計画」に係る令和5年度事業計画の1月末時点の進捗管理について ・グループワーク テーマ「ひきこもり事例を通じて活動している団体での新たな取組み」

6. 社協会費

本会の活動趣旨に賛同し、物心両面で福祉活動に参加いただき、地域の福祉課題をみんなで解決していけるよう、会員制度を設け、地域福祉の向上にご協力をいただいています。

会費種別	当初予算額	実績額
一般会費（各戸に1世帯700円として依頼）	5,500,000円	5,158,380円
賛助会費（各事業所に1口あたり5,000円として依頼）	1,200,000円	1,130,020円
サポート会費（一口あたり1,000円として依頼）	160,000円	169,000円

7. 善意銀行事業

皆様からの善意の金銭・物品の寄付窓口として開設しました。

預託額（一般・指定） 65件 1,893,857円 物品預託 122件

8. 民生委員児童委員活動との連携

地域福祉活動を推進するために、民生委員児童委員との連携を深め、情報提供、交換等研鑽につとめました。

- ①民生委員児童委員協議会連合会との連携
- ②総会、正副会長会、役員会、定例会、専門部会活動等への出席
- ③小地域福祉活動の推進と啓発

9. 生活援護活動

○CSW（コミュニティソーシャルワーカー）活動

近年、クローズアップされているひきこもりの方や家族の方の支援や、ヤングケアラーの課題や複合的な課題を抱えた方の支援等について、関係機関と連携しながらすすめてきた他、コロナの影響は無いが、既存の施策や制度では対応が難しい相談については、他の機関と方向性を出し合ったり、栗東生活支援協議会などの支援も考え合わせながら、対応をしてきました。

また、コロナ特例貸付については令和4年9月末で終了し、令和5年度上半期は償還に関する相談とともに、同貸付をもっても生活状況が厳しい世帯からの相談にも対応しています。また、金銭面以外にも抱えておられる複数の課題について聴き取り、傾聴を行うとともに、必要な機関に繋げてきました。

今後についても、相談支援を行っていくことはもちろん、包括的な支援体制の構築の一端を担うべく、他機関と連携しながら支援をすすめていきます。

○滋賀県生活福祉資金貸付事業【滋賀県社会福祉協議会からの受託事業、各市町社会福祉協議会が相談・申請窓口として実施】

低所得世帯、高齢者世帯、障がい者世帯を対象に、相談支援とともに本資金貸付申請については、民生委員児童委員と連携をとりながら、自立更生、生活援護に必要な資金の貸付を行いました。

資金種別	本年度新規貸付	
①総合支援資金	—	—
②福祉資金福祉費	2件	193,000円
③教育支援資金	14件	22,388,000円
④緊急小口資金	1件	100,000円
計	17件	22,681,000円

- 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金の特例貸付後の償還等の相談対応【滋賀県社会福祉協議会からのフォローアップ事業として受託、各市町社会福祉協議会が相談窓口として実施】

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入減少、休業、失業等により生計の維持が困難となった世帯に対し、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付を行いました（令和2年3月25日から開始、令和4年9月末で貸付終了）。

令和5年1月から償還が開始となっていますが、本貸付をもっても生活状況が改善しない方、償還自体が困難な方（償還免除の方を含む）については県社協、行政とともに生活面に関する相談に対応していきます。

免除等相談件数 1,060件

- （参考）特例貸付状況（令和2年3月25日～令和4年9月30日）

資金種別	令和2年3月末からの貸付累計	
	貸付件数	貸付金額
① 緊急小口資金	993件	187,240,000円
② 総合支援資金	755件	397,150,000円
③ 延長分総合支援資金	295件	156,700,000円
④ 再貸付総合支援資金	456件	245,060,000円
計	2,572件	986,150,000円

- 特例貸付等関係会議への出席

期日	内容	場所等
令和5年6月2日	令和5年度特例貸付事務手続き説明会	長寿社会福祉センター

○緊急つなぎ資金貸付事業【本会独自事業】

平成 30 年度より、生活保護や生活福祉資金の申請者を対象に、適用されるまでの間等において、手持ち金が少なく、生活に支障をきたす恐れがある場合に、緊急かつ一時的に生活つなぎ資金を貸し付けることにより、生活の安定を図ることを目的とした「緊急つなぎ資金貸付事業」（本会独自事業）を実施しています。

本年度対応 貸付件数 2 件、貸付金額 40,000 円

○緊急食料・衣料等提供事業【本会独自事業】

市内に居住する生活困窮者等が、緊急的かつ一時的に生計の維持が困難となった場合に食料・衣料等の生活に必要な現物（食料・衣料等）を提供することにより、世帯の自立を促し、地域社会の一員として円滑な社会生活が送れるように支援します。 本年度対応：24 件

○フードドライブ（栗東市主催、栗東市社会福祉協議会・栗東生活支援協議会協賛）

各家庭で使いきれない、食べきれない食品を寄附いただきました。

期 日	協力来場者	場 所	
令和 5 年 10 月 25 日	25 名	アルプラザ栗東	両日で計 401 点預かり
10 月 26 日	17 名	市役所	
上記の他、令和 5 年 9 月～、市内コミュニティセンターで実施、ボランティアが社協へ届ける。			

○フードパントリー

フードパントリーとは、生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のことです。

フードドライブで集まった食品、善意銀行へのご寄附と（一社）栗東生活支援協議会のご協力で用意した食品（米、パスタ、缶詰等等）をコロナ禍や物価高、その他不安定な収入の状況により生活に困窮している世帯へ無償でお渡ししました。

期 日	時 間	来所世帯数	場 所
令和 5 年 11 月 17 日	13:00～18:00	30 世帯	なごやかセンター
11 月 18 日	9:30～12:00	11 世帯	
12 月 2 日	9:30～12:00	40 世帯	コミュニティセンター金勝 (出張フードパントリー)
上記の他、毎月第 3 月曜日～金曜日（祝祭日除く）8:30～17:00 にも対応			

○生活困窮者自立支援事業

◆家計改善支援事業【市受託事業】

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却することを支援するため、本人の状態に応じた相談支援を実施するとともに、生活困窮者の家計再生のために、家計収支全体の改善を図り、家計等に関する相談支援を行いました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談件数	20 件	21 件	25 件	26 件	38 件	22 件	30 件	32 件	30 件	16 件	24 件	24 件	308 件
登録人数	8 名	11 名	11 名	11 名	11 名	11 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	9 名	
新規契約 人数	3 名	—	—	—	—	—	1 名	—	—	—	—	—	4 名
実利用者数	9 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	9 名	118 名

電話メール 163 件、訪問・同行支援 57 件、面談 76 件、他機関との会議 12 件
(3月末現在)

●関連会議等への参加

期 日	内 容	場所等
毎月第4月曜日	栗東市生活困窮者自立支援調整会議	市役所
令和5年6月13日, 9月13日,12月13日, 令和6年3月18日	総合相談事業	市役所
令和6年1月18日	栗東市自立支援協議会発達支援部会	歴史民俗博物館

●ひきこもり支援関係

主な事業（講演会、フォーラム、相談事業等）への取り組みは下半期より本格実施、上半期は実施に向けての準備、関連会議への出席としています。

○ひきこもりに関する講演会

令和5年12月3日（日）13:30～ JA レーク滋賀栗東総合センター（旧桃季館）
「誰もがなりうるひきこもり（不登校）の正しい知識」 38名
講師：山口大学大学院教授（NPO 法人ふらっとコミュニティ代表） 山根俊恵氏

○第5回ひきこもり支援を考えるフォーラム

(湖南地域ひきこもり者支援フォーラム実行委員会主催)

(草津市社協、守山市社協、栗東市社協、野洲市社協、滋賀県社協)

令和6年2月7日 13:30～15:30 キラリエ草津 参加者69名

「本人や家族の心情をどう理解し寄り添うか

～「ひきこもり」から温かい地域づくりを考える～

講師：KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 事務局長 上田理香氏

●関連会議、研修等

期 日	内 容	場 所 等
令和5年 7月27日,10月6日 令和6年 1月18日,3月15日	ひきこもり者と家族が孤立しない地域支援体制づくり事業担当者会議(湖南地域ひきこもり支援フォーラム実行委員会)	キラリエ草津
令和5年 9月11日	ひきこもり一斉電話相談にかかる研修会	ZOOM
9月14日	ひきこもり一斉電話相談	栗東市社協
10月25日	ひきこもりサポーター養成講座 「ひきこもりを深く理解するための大切な視点」	県立男女共同 参画センター
10月31日	重層的支援体制整備事業勉強会ひきこもり支援者交流会	長寿社会福祉 センター
11月10日	「これで安心、ひきこもり支援の実践」 職員研修会 31名 講師：株式会社康臨丸 訪問看護ステーション和来 代表取締役 佐崎航大氏	なごやか センター
11月20日	ひきこもり支援のための研修会	県立精神保健 センター
11月21日		長寿社会福祉 センター
11月29日	ヤングケアラー支援関係機関職員研修	キラリエ草津
令和6年 1月18日	令和5年度中高年層ひきこもり支援従事者研修会	県立精神保健 福祉センター
2月8日	ひきこもり一斉電話相談	栗東市社協
3月15日	有給職業体験パイターンを滋賀で始めよう	大津市市民 活動センター

ひきこもり関連図書設置 20冊、「あなたによりそうノート」(自由帳)設置

●ひきこもり相談事業 よりそい支援 ゆっくりっと 開設（令和5年11月～）

何らかの理由で地域や社会から孤立した状態にある方やご家族に対して、一緒に考えていく機会や場の創設について検討を進めています。孤独・孤立に陥らないための取り組みの一つとして、日頃の悩みや心配ごとを直接話せる場を設け、「一人で抱え込まない」地域づくりを目的に行っています。

令和5年11月15日、12月20日、令和6年1月17日、2月21日、3月13日
9:00～12:30 毎月第3水曜日が基本 最大3組（一人当たり相談時間50分）
計19件

◆女性のための居場所「まろん de さろん」（再掲）

市内居住の女性の居場所づくりとして、令和3年12月より毎月第3火曜日の10:00～14:00、なごやかセンター和室に開設。 延べ43名

- ・過ごし方は自由。ワンドリンク・電子レンジを設置し、飲食可。
- ・傾聴ボランティア、精神科看護師の配置
- ・制作（季節のかざり作り、簡単な手芸等）
- ・必要な方には生理用品の配布
- ・個別の相談がある場合は、別途相談対応

女性のつながりサポート事業交流会

令和6年11月9日 長寿社会福祉センター

◆子どもの学習・生活支援事業【市受託事業】

学習支援として「べんきょう会」の実施（生活困窮者支援対応）

経済的にハンディのある主に中学生・高校生に対しての居場所づくり、学習支援と共に生活習慣の定着、会話の中から思いや悩みを汲み取り必要な支援につなげます。

対象：市内の中学生・高校生（ゆうあいの家及びコミュニティセンター葉山東の2カ所で実施）

サポーターとして、学童保育所指導員、ボランティア（教員免許所持者等）等数名が対応。

場所：ゆうあいの家 実施日：毎週金曜日、17:00～20:00

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	2回	3回	4回	4回	3回	4回	3回	3回	4回	4回	3回	5回	42回
実利用 人数	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	5 名	27 名
延人数													
生徒	3 名	4 名	8 名	7 名	5 名	7 名	4 名	5 名	7 名	5 名	6 名	14 名	75 名
サポーター	8 名	6 名	8 名	8 名	5 名	11 名	8 名	9 名	8 名	6 名	6 名	14 名	97 名

場所：コミュニティセンター葉山東 実施日：毎週木曜日、17:00～20:00

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開催回数	4回	3回	5回	4回	5回	4回	4回	4回	4回	3回	5回	4回	49回
実利用 人数	11 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	10 名	121 名
延人数													
生徒	29 名	23 名	32 名	25 名	31 名	28 名	25 名	24 名	24 名	15 名	30 名	27 名	313 名
サポーター	14 名	14 名	18 名	15 名	16 名	12 名	12 名	11 名	12 名	7 名	14 名	11 名	156 名

電話・メール 79件、訪問・同行支援 4件、面談 11件、所内会議 12件、
他機関との会議 3件、他機関との電話照会・協議 14件、その他 130件（3月末現在）

●関連会議等への参加

期 日	内 容	場所等
令和5年 7月25日	第52回栗東市人権教育研究大会分科会での発表 事前打合せ	市役所
8月5日	第52回栗東市人権教育研究大会分科会での発表	葉山中学校
令和6年 1月18日	栗東市障がい児・者自立支援協議会発達支援部会 「福祉と教育における「連携」」	栗東歴史民俗博物館

◆子ども食堂（市内実施の子ども食堂への支援等）（資料2参照）

滋賀の縁創造実践センターモデル事業として始まり、家庭の事情で寂しさやしんどさを抱えている、あるいは食事をゆっくり食べられない子どもたちの居場所として現

在市内 10 ヲ所で子ども食堂が開設されています (1 ヲ所、「花明かり食堂」についてはウイングプラザから移転の為、令和 5 年 9 月末で終了)。本会も立ち上げや実施に支援 (情報交換や物資等) を行いました。

なお、滋賀県内では令和 6 年 4 月 30 日時点では 204 ヲ所で子ども食堂が開設されています。

○関連事業等

期 日	内 容	場所等
令和 5 年 4 月 22 日	「はるにし子どもカレー食堂」 運営委員会	ゆうあいの家
7 月 7 日	「りっとう子ども食堂連絡会」 参加者：8 食堂より 8 名	なごやかセンター
7 月 8 日	子ども食堂フェスタ	長寿社会福祉センター
8 月 24 日	子ども食堂スタッフ研修&交流会 参加者 13 名	ゆうあいの家
10 月 7 日	「りっとう子ども食堂フェスタ」 (ボランティアまつりと同時開催)	なごやかセンター

●栗東生活支援協議会「ふるさと生活サポート応援隊」関連

栗東ロータリークラブ、栗東ライオンズクラブ、栗東青年会議所をはじめ、市内やその周辺に立地する社会福祉を目的とする団体・個人、福祉活動に理解ある企業等をもって組織し、本会 (栗東市社会福祉協議会) と連携し、市内の生活困窮者、とりわけ次代を担う青少年を対象に、資金・物資・労力・技術及び情報等をもとに支援活動を行っています。

令和元年度から、栗東市内において生活に課題を抱えるご家庭やその子どもたちの支援団体として、関係機関、企業、法人、行政等のご理解をいただき、また連携を図りながら、「ふるさと生活サポート応援隊」(栗東生活支援協議会) を設立し継続的な支援を進めています。

【主な取り組み】

緊急食料セットの交付、子ども食堂等の活動資金助成事業、緊急つなぎ資金貸付事業、支援ボランティアの人材バンク、就労体験事業、就職活動支援 (制服のリユースやリクルートスーツの貸出) 等

なお、コロナ特例貸付申請の相談の中で生活状況が特に厳しい方への対応として、「生活支援協議会」において米、缶詰、レトルト食品、マスク等をセットとして交付しまし

た（各物品の在庫状況により内容は変動）。

- 対象：・子どもの学習・生活支援事業登録者、家計改善支援事業利用者及びその世帯
・市社会福祉課、こども家庭センター（家庭児童相談室）等が必要であろうと判断される方、ひとり親世帯等
・緊急小口資金等を申請された方で、生活再建の目途がたたない方及び世帯

「ふるサポ♡安心便」

新型コロナウイルス感染症の拡大など様々な理由や、経済的な事情により衛生用品（生理用品）を購入できない女性の存在、いわゆる「生理の貧困」問題が報道されており、安心して生活していただける一助として、同用品の支援を行いました。

10. 実習生の受け入れ

各大学や専門学校、関係機関から一定期間、実習生を受入れ、地域福祉部門を中心として認識を深めていただいています。関わる職員についても、常の活動等を再認識する機会にもなっています。

実習依頼元	人数	実習期間	備考
学校法人滋慶京都学園 京都医健専門学校	1名	令和5年 6月24日～7月3日	2024年度ソーシャルワーク実習 (60時間、8日間)

11. ボランティア市民活動センターの運営【市補助事業】（資料編3参照）

ボランティア市民活動を推進するために、ボランティア市民活動センターの果たす役割は大きく、ニーズに対してのコーディネート、ボランティアや市民活動団体との連携、情報交換を図り、研修会、講座を開催しました。

(1) 相談・登録・調整・紹介事業

- ・相談件数：405件
- ・登録数：登録グループ：85グループ 1,248名
登録サロン：51グループ 408名
個人ボランティア 37名 計 1,693名
- ・備品・図書・体験用具の貸出：40件
- ・登録団体活動支援、活動室貸館：346件
- ・ボランティア保険の受付
- ・「栗東ふくし」広報にボラセンページの設定、ホームページの活用等、ボランティア情報の発信

(2) 人材育成事業

●福祉教育

○市内小中学校へ訪問し福祉学習案内を行った他、市内の小中学校等において、福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育て、当事者理解や人権について考える機会として開催される福祉体験学習の支援を行いました。

期 日	実施校	参加数	内 容
令和5年 5月	市内小中学校に福祉学習案内を配布		12校訪問
5月9日	聾唖学校への手話教室について訪問	3名	
6月28日	大宝西小学校4年生	88名	車椅子体験見学、補助
7月12日	大宝小学校4年生	30名	
11月28日	聾話学校への出前講座	4名	視覚について
10月23日～	大宝東小学校	60名	車椅子貸出
10月27日～	葉山東小学校	82名	車椅子、アイマスク、点字版、白杖、高齢者疑似体験貸出
11月13日～	治田小学校	64名	車椅子、アイマスク、点字版貸出
11月13日～	治田東小学校	65名	高齢者疑似体験貸出
11月24日～	大宝小学校	75名	アイマスク、点字版、白杖、高齢者疑似体験貸出
11月30日～	治田西小学校	88名	車椅子、アイマスク、点字版、白杖、高齢者疑似体験貸出
令和6年 1月12日～	葉山東小学校	87名	アイマスク、点字版、白杖貸出
1月15日～	治田東小学校	65名	車椅子貸出
1月29日～	治田東小学校	80名	点字版、白杖貸出
3月5日～	大宝東小学校	71名	車椅子貸出

○メールレターの発信 (24回発行)

○ボランティア説明

期 日	内 容	参加数	
令和5年4月～5月	滋賀レイカディア大 学「地域活動体験学 習」	3名	センター職員によるボランテ ィアセンターについての講座
令和6年2月		2名	
令和5年11月29日	第7期栗東100歳大 学「より豊かな人生 を過ごすために」～ ボランティア活動	21名	センター職員によるボランテ ィア活動についての講座

○ボランティアきっかけ講座の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	参加数	内容他
令和6年 3月16日	40名	～ゆるくつながるには、理由がある～「“大道芸人たつきゆうさ ん”のゆるいボランティアのすすすめ」 講師：大道芸人・健康生きがいづくりアドバイザー 田久朋寛氏

○災害ボランティア連続講座の開催（なごやかセンターで開催）

期 日	参加数	内容他
令和5年 7月21日	18名	「防災・災害支援に活かす女性の視点」 講師：NPO 政策研究所 専務理事 相川康子氏
令和6年 3月7日	講師都 合によ り中止	「その時、どんな行動をとりますか？」 講師：一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原英文氏

○ボランティアきっかけ支援（なごやかセンターで開催）

期 日	参加数	内容他
令和5年 5月17日	3名	ゆるボラ「来て Kitte 切手」（切手の周囲切りボランティア）
6月21日	1名	
7月19日	2名	
8月23日	0名	
9月22日	3名	
10月18日	1名	
11月15日	0名	

12月20日	1名	
令和6年		
1月17日	1名	
2月21日	0名	
3月13日	4名	

○視察等 湖南省ボランティア連絡会 令和5年9月4日 10:00～11:30
ボランティア連絡会について情報交換 2名

(3) 連携・協働事業

●栗東市介護者の会支援

期 日	参加数	内 容
令和5年 4月18日	1名	役員会 今後の支援等について

●栗東高校ボランティア同好会マッチング (ボランティア参加の調整)

期 日	参加数	内 容
令和5年7月	11名	SL公園清掃、子ども食堂(3丁目のらふ)
8月	8名	
9月	9名	
10月	4名	
11月	11名	SL公園清掃、子ども食堂(3丁目のらふ)、はるにし子どもカレー食堂
12月	8名	SL公園清掃、子ども食堂(3丁目のらふ)
令和6年 1月	4名	SL公園清掃
2月	10名	SL公園清掃、子ども食堂(3丁目のらふ)
3月	4名	SL公園清掃

●各コミセンフードドライブ 令和5年9月～

実施に向けての検討、回収ボランティアの募集、調整

(4) 交流・啓発事業

●第10回「ボランティアまつり」

ボランティア市民活動の活性化および市民との交流やふれあいを深めること、ならびに、より多くの市民にボランティアや老人福祉センターを周知・啓発することを目的として開催しました。

令和5年10月7日 9:30~14:00 なごやかセンター 参加：約500名

楽しむ・食べる・体験する・知るコーナー設置

「りっとう子ども食堂フェスタ」同時開催

- ・ボランティアステージ発表
- ・ボランティア登録団体ボランティアポスター展示
- ・物販
- ・模擬店（テイクアウト）
- ・ボランティア体験 等
- ・赤い羽根共同募金の啓発コーナー

期 日	参加数	内 容
令和5年5月19日	9名	第1回企画委員会
6月12日	8名	第2回企画委員会
7月24日	8名	第3回企画委員会
8月10日	5名	第4回企画委員会
8月30日	29名	第1回実行委員会
9月12日	7名	第5回企画委員会
10月30日	5名	第6回企画委員会
令和6年3月8日	5名	企画委員会

●栗東市心身障がい児・者レクリエーション・スポーツ大会支援

障がい児（者）および家族等が地域のボランティアとともにレクリエーション・スポーツ大会等を通して体力の維持・向上を目指しながら各関係団体との相互の親睦を深め、社会参加促進および地域ボランティアの育成を図ることを目的とした団体との連携・支援として実施し、平成26年度より事務局として運営しています。

期 日	参加数	内 容
令和5年4月24日	18名	第1回実行委員会
5月18日	14名	第2回実行委員会
7月29日	110名	第1回レクスポ ボウリング大会
8月8日	11名	第3回実行委員会
9月16日	100名	第2回レクスポ ボウリング大会
10月11日	10名	第4回実行委員会
11月18日	100名	第3回レクスポ ボウリング大会
令和6年 1月23日	15名	第5回実行委員会

1.2. 高齢者福祉活動

要介護高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていくために、福祉・保健の連携を図り、地域住民やボランティア等の協力を得ながら、地域福祉活動、在宅福祉サービスに取り組みました。

(1) 隣保館デイサービス事業「ひだまりひろば」【市受託事業】(資料編 10 参照)

要介護認定で「自立」と認定された概ね 65 歳以上の高齢者、サービスが必要な方に対して、ひだまりの家でデイサービスの提供を行いました。

実人数：49 名、延利用人数：2,364 名、1 回平均：10.0 名

(2) いきいき活動ポイント事業【市受託事業】

60 歳以上の市民が事前登録により、介護支援活動を行うことで、地域住民主体の通いの場や互助の充実を推進するとともに、社会参加活動を通じた高齢者等自身の介護予防の推進を図ることを目的として実施。介護支援活動に対してはポイントが付与され、換券により買い物券に交換、あるいは活動団体への寄付（活動費等に充当）ができる制度です。

登録者の意識を活発にするべく登録説明会の他、研修会（3 回シリーズ講座）は、「コロナ後にわたしを整える」を大きなテーマとして、コロナ禍で失いかけた“こころ”や“からだ”を取り戻し、安心して地域で活躍していただけることを目的として開催しました。

自身の介護予防を柱に、地域の助け合いを支援するこの制度によって、人々の地域での助け合いが自主的に「やりたい」、依頼されたことをするだけでなく、「どこかに困っている方はいないか？」と積極的に関わる姿勢への変化がみられます。

○登録説明会の開催

期 日	参加数	開催場所
令和 5 年 4 月 11 日	9 名	綾自治会館
4 月 11 日	4 名	ボランティア市民活動センター
4 月 12 日	1 名	なごやかセンター
4 月 13 日	4 名	ボランティア市民活動センター
4 月 20 日	6 名	小坂自治会館
4 月 27 日	10 名	コミュニティセンター大宝東
5 月 17 日	1 名	ボランティア市民活動センター
6 月 8 日	8 名	出庭自治会館
6 月 13 日	1 名	ボランティア市民活動センター
6 月 21 日	1 名	ゆうあいの家

8月23日	1名	ゆうあいの家
10月13日	1名	ボランティア市民活動センター
10月31日	1名	ボランティア市民活動センター
11月6日	7名	ウイングビュー会議室
11月16日	1名	なごやかセンター
11月28日	2名	ボランティア市民活動センター
令和6年 2月17日	12名	なごやかセンター
3月13日	1名	ボランティア市民活動センター
3月14日	5名	霊仙寺自治会館
3月29日	4名	ボランティア市民活動センター
延べ計	82名	

○研修会（講座）の開催（なごやかセンターで開催）

期日	参加数	内容他
令和5年 7月18日	50名	第1部「アンガーマネジメントからの…」～怒りと上手に向き合い、介護や介護予防に役立てよう～ 講師：栗東市教育委員会学校教育課 安岡寛氏 第2部 ～怒りを上手にコントロールした後は…「大爆笑 落語」講師：笑交亭爆笑氏
7月29日	43名	第1部「聴くが効く」～傾聴の基本から実践まで～傾聴とはわたしがわたしを知ることなのです 講師：龍谷大学社会学部非常勤講師 扇田宗親氏 第2部「地域での見守り活動について」 講師：地域ささえあい推進員
8月1日	49名	第1部 わたしを整える 第1弾「こころ元気」～ストレスに強い人・弱い人 ポジティブにゆるくつながる～ 講師：訪問看護ステーション和来 管理部エリアマネージャー 本間亮二氏 第2部 わたしを整える 第2弾「からだ元気」～音楽レクリエーションからの認知症予防 やる気を高めて気分転換しよう 頭がスッキリしたら仲間と楽しもう～ 講師：社会福祉士 認知症心理カウンセラー 音楽レクリエーション指導士 岡野未来氏

○ボランティア養成講座の開催（なごやかセンターで開催）（再掲）

期 日	参加数	内容他
令和 6 年 3 月 16 日	40 名	「ボランティアきっかけ講座」 ～ゆるくつながるには理由がある～ 「“大動芸人たきゅうさん”のゆるいボランティア活動のすすめ」 講師:大道芸人・健康生きがいでづくりアドバイザー 田久朋寛氏（通称「たっきゅうさん」）
3 月 7 日	講師都合により中止	「災害ボランティア連即講座」その時、どんな行動をとりますか。 講師：一般社団法人 FEEL DO 代表理事 栗原英文氏

○同事業、登録状況（令和 6 年 3 月 31 日現在）

受入施設指定決定数	
介護保険施設（老人福祉センター3件含む）	23 件
障がい者福祉施設	2 件
いきいき百歳体操	43 件
地域高齢者サロン	35 件
グラウンドゴルフ	6 件
給食ボランティア	1 件
子ども食堂	3 件
認知症カフェ（介護保険施設数と重複）	1 件
ボランティア在宅受入希望個人登録者	34 名
ボランティア登録者（個人登録者数）	456 名
活動予定内容	
施設ボランティア希望者	201 名
百歳体操でのボランティア希望者	320 名
サロンでのボランティア希望者	281 名
個人宅ボランティア希望者	148 名
（内訳は延べ人数を標記、活動場所が複数登録の場合あり）	

(3) 生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター、本会では「地域ささえあい推進」の名称で活動）【市受託事業】（資料編 1 参照）

地域の高齢者を中心とした支え合い活動等の体制整備の推進として、同事業を平成 30 年度から事業受託しています。

令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症が 5 類相当になった影響で、少しずつ地

域の福祉活動が再開されるようになりました。そのような状況の中、地域ささえあい推進員は、地域の活動者とのつながりを絶やさず支援しながら、主に退職シニアを対象とした「退職シニアでつながろう 栗東おやじ塾」等を開催し、自らの楽しみや仲間づくり、新たな活動場所をつくるきっかけづくりに努めました。

なお、毎月定例で市長寿福祉課の第一層生活支援コーディネーターとの協議を持ち、情報共有し指導を受けながら下記のとおり進めました。

○取り組み内容

1. 集いの場づくりを担う人材の養成

- ① 「退職シニアでつながろう 栗東おやじ塾」の開催
- ② 「おやじ塾フォローアップ講座」の開催
- ③ 栗東市いきいき活動ポイント事業「ぐるり見守り隊養成講座」の協力実施

2. 新たな活動を興そうとしている人材の発掘

- ①活動団体や活動者同士のつながりづくり
 - (1) サロン交流会の開催
 - (2) 民生委員児童委員協議会との情報共有等
- ②栗東市いきいき活動ポイント事業との協働

3. 新たな活動への集中的支援

- ①出前講座の実施
- ②新たな地域活動の立ち上げ支援
- ③「見守りあい活動」の推進

4. 日常的に行われている住民同士の助け合い活動などの支援、顕在化

- ①地域活動に関する相談窓口の充実と活動支援
- ②地域で日常的に行われている活動の顕在化ならびに活動継続支援
- ③社会資源冊子の作成
- ④アセスメントシートの作成

5. 市内各種団体との連携

○「退職シニアでつながろう 栗東おやじ塾」(場所は特記以外、なごやかセンター集会室)

期 日	内 容	参加数
令和5年 11月4日	講演：「おやじからおやじへのメッセージ～私のおやじ活動」 講師：龍谷大学現代福祉学科教授 山口浩次氏	19名

11月11日	「美味しいコーヒーを誰かのために…コーヒーの煎れ方講座」 (地域活動で活かしていただくための珈琲の煎れ方を学び交流を図る) 福祉作業所「あるきだす」の説明・見学 講師:ヨイマメコーヒー、福祉作業所おもや (福祉作業所「あるきだす」にて開催)	24名
11月18日	「退職シニアグループの先輩 ふぁぎーず倶楽部の先輩の活動を知ろう」 講師:栗東ふぁぎーず倶楽部	24名
11月25日	「あなたの知識、技術を地域のために おやじの防災活動」 講師:NPO 法人しがいち防災研究所 岩佐卓實氏	11名
令和6年	「おやじ塾フォローアップ講座」	
1月20日	(今後の活動について)	15名
2月17日	(いきいき活動ポイント事業の説明)	8名
3月26日	(サロン交流会)	5名
計		106名

○第7期栗東100歳大学関係

期 日	内 容	備 考
令和5年11月22日	「身近な地域のささえあいについて」 (講師として参加)	コミセン治田
11月29日	身近な地域の支えあい活動について 「より豊かな人生を過ごすために～ボランティア活動 ～いきいきポイントについて	コミセン治田
令和6年2月19日	第7期栗東100歳大学卒業式	コミセン治田
3月5日	栗東100歳大学アドバイザー会議	市役所

(4) 市老人クラブ連合会活動協力

1.3. 老人福祉センター事業 【指定管理事業(平成31年度～令和5年度)】

(資料編4参照)

高齢者をはじめ、住民の皆様のコミュニケーションの場、健康増進や教養の向上の場として、新型コロナウイルス対策として検温、消毒などの感染拡大防止策を徹底しながら運営を行っています。

	やすらぎの家	ゆうあいの家	なごやかセンター
団体	106 団体 909 名	398 団体 4,629 名	252 団体 7,718 名
個人	8,919 名	12,349 名	12,072 名
合計	9,828 名	16,978 名	19,790 名
利用 1 日平均	39.6 名	66.8 名	69.6 名
内、宿泊	無し	無し	無し
内、巡回バス	2,599 名	1,480 名	1,861 名
巡回バス利用 1 回平均	12.9 名	7.6 名	9.7 名

○利用者会議の開催（令和 5 年度利用状況報告等）

- ・やすらぎの家 令和 5 年 11 月 7 日、令和 6 年 3 月 19 日
- ・ゆうあいの家 令和 5 年 11 月 16 日、令和 6 年 3 月 8 日
- ・なごやかセンター 令和 5 年 11 月 8 日、令和 6 年 3 月 22 日

○やすらぎ 夏祭り 令和 5 年 7 月 25 日～28 日

30 周年記念まつり 令和 5 年 12 月 19 日～22 日

○なごやか 治田東児童館交流事業 令和 5 年 8 月 1 日～3 日

○なごやか 治田学童保育所児童、世代間交流お茶会

令和 5 年 8 月 4 日,8 日,9 日,10 日

○老人福祉センター見学ツアー

令和 5 年 7 月 15 日 金勝学区民生委員児童委員協議会

12 月 2 日 治田学区民生委員児童委員協議会

12 月 16 日 治田東学区民生委員児童委員協議会

●令和 6 年度からの指定管理申請

身体障がい者デイサービス事業と共に次年度からの指定管理申請を行い、令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日までの 5 年間について、指定管理者として決定を受けました。

1 4. 介護保険事業及び介護予防・日常生活支援総合事業

各介護保険事業の実施の他、平成 29 年度の制度改正により、要支援の方については総合事業へ移行となったことから、本会において訪問介護事業及び通所介護事業により対応しています。また、新型コロナウイルス感染拡大防止策を徹底しながら、運営を行っています。(※参考 () 内は令和 4 年度の実績)

(1) 居宅介護支援事業（資料編 5 参照）

居宅サービス計画の作成と各サービス提供事業者との調整、サービスの実施状況及び課題の把握、給付管理、要介護認定等の協力・援助、契約者からの相談対応を実施しました。

利用実人数：95名（104名）、延人数：1,135名（1,099名）

(2) 訪問介護事業（資料編 6 参照）

要介護者・要支援者に対し、居宅において可能な限り自立した日常生活が送れるよう身体介護、家事援助サービスを実施しました。

利用実人数：39名（30名）、延人数：422名（309名）

(3) 通所介護事業（資料編 8 参照）

要介護者・要支援者に対し、社会的孤立の解消及び心身機能の維持並びに利用者、家族の身体的・精神的負担の軽減をはかることを目的として実施しました。

- ・やすらぎ 利用実人数：51名（48名）、延人数：5,377名（5,090名）
- ・ゆうあい 利用実人数：45名（48名）、延人数：4,414名（4,659名）
- ・なごやか 利用実人数：49名（56名）、延人数：4,106名（4,467名）

○通所介護年末入浴の実施 令和 5 年 12 月 29 日（金）

【介護保険事業状況】

(参考) 令和5年度、令和4年度収支比較(繰入含まず)

令和5年度	収入	支出	収支差額
居宅介護支援事業	17,352,381	22,837,622	▲ 5,485,241
訪問介護事業	10,626,153	19,635,455	▲ 9,009,302
通所介護やすらぎ事業	43,792,093	47,596,718	▲ 3,804,625
通所介護ゆうあい事業	41,557,018	45,222,284	▲ 3,665,266
通所介護なごやか事業	35,914,303	30,122,156	5,792,147
計	149,241,948	165,414,235	▲ 16,172,287

令和4年度	収入	支出	収支差額
居宅介護支援事業	18,431,821	26,380,285	▲ 7,948,464
訪問介護事業	10,689,652	17,920,277	▲ 7,230,625
通所介護やすらぎ事業	42,999,085	49,960,637	▲ 6,961,552
通所介護ゆうあい事業	44,468,690	46,267,745	▲ 1,799,055
通所介護なごやか事業	41,049,917	33,248,418	7,801,499
計	157,639,165	173,777,362	▲ 16,138,197

令和5年度-4年度差額	収入	支出	収支差額
居宅介護支援事業	▲1,079,440	▲3,542,663	2,463,223
訪問介護事業	▲ 63,499	1,715,178	▲ 1,778,677
通所介護やすらぎ事業	793,008	▲2,363,919	3,156,927
通所介護ゆうあい事業	▲2,911,672	▲1,045,461	▲ 1,866,211
通所介護なごやか事業	▲5,135,614	▲3,126,262	▲ 2,009,352
計	▲8,397,217	▲8,363,127	▲ 34,090

15. 心身障がい者(児)福祉活動

障がい者(児)の自立と福祉活動への参加を促進するため、相談及び活動援助の推進を図りました。

(1) 居宅介護事業【市受託事業】(資料編8参照)

居宅介護：17世帯、家事援助：768回、身体介護：270回、通院介護：16回
 同行援護：10世帯、延回数：455回

(2) 身体障がい者デイサービス事業【市受託事業】(資料編10参照)

利用実人数：14名、延人数：777名

●令和6年度からの指定管理申請

老人福祉センター事業（3館）と共に次年度からの指定管理申請を行い、令和6年4月1日～令和11年3月31日までの5年間について、指定管理者として決定を受けました。

(3) 特定相談支援事業【市受託事業】（資料編11参照）

障がい福祉サービスの申請に係るサービス等利用計画案を作成し、サービスの利用状況を確認、計画の見直しやサービス事業者等との連絡調整にあたりました。

利用数 延 258 件

(4) 車イスの貸出：延 96 件

(5) 障がい者団体等への活動援助

16. 児童福祉活動

(1) 学童保育所事業 【指定管理事業（令和4年度～8年度）】（資料編12参照）

保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学生を対象として、授業の終了後、適切な遊びや生活の場を与え、児童を健全育成しています。

○利用者数（10学童保育所合計）：延べ8,546名

月別利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	742	745	740	734	726	718	709	697	691	685	680	679

○令和6年度、学童保育所入所関係

- ・申請書交付および第1次募集 令和5年11月1日～22日
- ・第2次募集（治田東、大宝東、大宝西学童保育所） 令和6年1月15日～26日
- ・随時募集（金勝、大宝東、大宝西学童保育所） 令和6年2月5日～

(2) 栗東市要保護児童対策地域協議会実務者会議への出席（毎月1回）

17. 職員採用試験の実施

部門	職種	実施回数	実施日
通所介護	介護職員	1回	令和6年3月27日
	看護職員	1回	令和5年5月13日,令和6年3月27日
訪問介護	常勤訪問介護員	1回	令和6年2月6日

訪問介護 居宅介護	ホームヘルパー及び ガイドヘルパー	1回	令和5年11月29日
学童保育所	常勤指導員	1回	令和6年2月29日
	非常勤指導員	7回	令和5年9月11日,12日,28日, 10月17日,12月15日,21日, 令和6年1月11日
他、学童保育アルバイト指導員・登録介護・看護職員については随時面接を実施			

18. 職員研修等の実施

●ひきこもりに関する職員研修

期 日	参加数	内 容	時間 (分)
令和5年 11月10日	31名	職員研修会「これで安心、ひきこもり支援の実践」 講師：株式会社康臨丸 訪問看護ステーション和来 代表取締役 佐崎航大氏 場所：なごやかセンター	90

●人権研修等

期 日	参加数	内 容	時間 (分)
令和5年 5月20日	3名	2023年度部落解放・人権政策確立要求びわこ南部地域実行委員会 第 33回定期総会 「もう少しだけスピードを上げて～人権の「世界基準」に追いつくため に～」 講師：解放社会学研究所所長 江嶋修作氏 場所：さきら	210
5月23日	1名	栗東市事業所人権教育推進協議会総会及び企業内人権・同和問題研修会 「人材確保のための求人ノウハウ習得セミナー」 講師：滋賀県働き方改革推進支援センター・社会保険労務士宮川拓也氏 場所：なごやかセンター	120
5月25日	1名	市人権研修 集合研修「初任者研修」 「コンプライアンス」地方創生企画課、「情報セキュリティ」情報政策 課、「～人権・同和問題の基礎～」人権教育課同和教育指導員 場所：市危機管理センター	120
6月23日 7月14日 9月29日 10月26日	各1名	人権研修（治田西人権教育推進委員会） 場所：ゆうあいの家	各60

11月12日 12月8日 令和6年 1月27日			
7月1日	10人	なごやかセンター職員研修「虐待を起こさない為の基礎知識」	45
8月9日	1名	企業トップクラス層を対象とした「人権問題研修会」 「高校生の進路保障に対する取り組み」 講師：滋賀県進路保障推進協議会事務局長 榎本義人氏 「公正な採用選考をめざして」 講師：滋賀労働局職業安定部職業対策課 「人を大切に作る組織づくりで人材確保 ～パワーハラスメントへの取り組みから～」講師：社労士オフィス SATO、合同会社カラフルキャリア Lab代表 佐藤淳子氏 オンライン研修	100
8月24日	1名	じんけんセミナー栗東 「インターネットと人とのかかわり合い～突然、僕は殺人犯にされた～」講師：スマイリーキクチ氏 場所：さきら	90
8月29日～ 9月2日	60名	ひだまりの家利用者（隣保館デイサービス利用者）向け人権研修	60
9月5日～ 8日	60名	やすらぎの家利用者向け人権研修 啓発用 DVD 鑑賞	30
9月8日	9名	やすらぎの家職員人権研修 啓発用 DVD 鑑賞	30
11月9,14, 15,17日	60名	なごやかセンター利用者向け人権研修 「家庭からふりかえる人権 話せてよかった」DVD 鑑賞	60
11月12日	3名	人権研修（じんけん広場ふれあい文化祭） 場所：ゆうあいの家	90
11月14日	1名	栗東市事業所人権教育推進協議会 企業内人権・同和問題研修会 「人材確保が難しい時代における職場づくり～人材確保のための働き方改革～」 講師：滋賀働き方改革推進支援センター 社会保険労務士 宮川拓也氏 場所：なごやかセンター	90
11月17日	11名	なごやかセンター職員人権研修 「家庭からふりかえる人権 話せてよかった」DVD 鑑賞	60
11月17日	1名	滋賀県健康医療福祉障害福祉課主催 改正障害者差別解消法に係る事業者向け説明会 「改正障害者差別解消法について」内閣府政策総括参事官 小林敦氏 改正障害者差別解消法に係る説明会～事例の紹介～	120

		内閣府障害者施策アドバイザー・東京大学先端科学技術研究センター特任研究員 大河内直之氏 オンライン研修	
11月30日	11名	なごやかセンター職員研修「認知症の理解と対応」書面研修	60
12月6日	1名	栗東市事業所人権教育推進協議会 令和5年度こころの健康づくり講演会「こころの健康づくり講演会～働く人のメンタルヘルスケア～ ・メンタルヘルスに関する基礎知識 ・メンタル不調の気づきと予防法 など 講師：一般社団法人 明治安田健康開発財団 健康増進支援センター 宗嶋潤氏 場所：なごやかセンター	120
令和6年 1月19日	1名	職員集合研修「基礎研修（人権・同和問題）」 「今ある人権課題について」日常の中の“モヤモヤ”…「これって差別？」～マイクロアグレッションって何？～ 講師：市役所人権教育課 場所：市危機管理センター	60
2月6～9日	41名	ゆうあいの家利用者向け人権研修 「一人ひとりを大切に～人権尊重のまちづくり～」 講師：市役所人権教育課	60
2月16日	1名	栗東市事業所人権教育推進協議会 企業内人権・同和問題研修会 「障がい者の働きやすい職場」 講師：滋賀障害者職業センター 上席障害者職業カウンセラー 沼津美紀氏 場所：なごやかセンター	90
2月16日	1名	市集合研修「難聴障がい者への理解と支援」 場所：市役所	90
2月21日	1名	市集合研修「応用研修（選択式）聴覚障害への理解と支援について」 場所：市危機管理センター	90
3月2日	5名	人権尊重と部落解放をめざす市民のつどい 「出会い つながり 絆」和太鼓 絆 場所：さきら	180
毎月		滋賀県「じんけん通信」を内部LANにより啓発	

●学童指導員研修関係

期日	参加者	内容	実施区分		時間 (分)
			組織内	組織外	
令和5年 5月11日	59名	学習会 基礎研修（グループ討議） 座長：家永薫 場所：治田学童保育所	○		90
5月23日	9名	心肺蘇生法（普通救命講習Ⅰ） 講師：救命救急士 場所：湖南広域消防局中消防署		○	180

5月25日	4名	集合研修『初任者研修』 ●「コンプライアンス」 講師：地方創生企画課 主査 平井直樹氏 ●「情報セキュリティ」 講師：情報政策課 主査 伊藤大揮氏 ●「人権・同和問題」 講師：人権教育課 同和教育指導員 雪竹義和氏 場所：危機管理センター3F 大研修室		○	90
6月1日	16名	心肺蘇生法（普通救命講習Ⅰ）			180
6月6日	19名	講師：市民救急指導員 家永薫・藤田さおり	○		
6月7日	16名	場所：栗東市総合福祉保健センター集会室			
6月9日	13名	※各所にて応急手当ウェブ講習事前学習			
6月11日	16名	全国指導員学校西日本石川会場オンライン研修		○	300
6月16日	84名	救急法 講師：湖南広域消防局中消防署 安全救急係 梅野太希氏 場所：栗東市総合福祉保健センター集会室	○		90
6月29日	58名	「学童保育における職員のチームワークについて」 講師：大阪大谷大学教育学部教育学科教授 永瀬美子先生 場所：栗東市総合福祉保健センター集会室	○		90
6月25日 ①	10名	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修会 A(経験5 年未満) ハイブリッド研修 滋賀県立男女共同参画センター ① 放課後児童クラブの生活づくり(あそび) 講師：元京都市指導員県連職員 四方則行氏			1440
7月2日②		② 放課後児童健全育成事業の役割と運営主体の責務 講師：大妻女子大 真田祐氏		○	
9月8日③		③ 安全指導・安全管理 講師：東京都文京区柳町区児童館長 高橋誠氏			
9月12日④		④ 放課後児童クラブの生活・記録 講師：日本臨床教育学会副会長 福井雅英氏			
9月29日⑤		⑤ 子どもの人権と倫理 講師：愛知県立大 久保田貢氏			
10月9日⑥		⑥ グループワーク			
	5名	滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修会 B(経験5 ~10年)		○	1260

6月25日① 9月15日② 9月23日③ 9月29日④ 10月3日⑤ 10月9日⑥		<p>ハイブリッド研修 滋賀県立男女共同参画センター</p> <p>① 放課後児童クラブの生活づくり(あそび) 講師：元京都市指導員県連職員 四方則行氏</p> <p>② 障害児を受け入れるための専門的知識 講師：立命館大 田村和宏氏</p> <p>③ 学童保育の子どもの姿 講師：東京都文京区柳町区児童館長 高橋誠氏</p> <p>④ 子どもの人権と倫理 講師：愛知県立大 久保田貢氏</p> <p>⑤ 実践検討 講師：日本臨床教育学会副会長 福井雅英氏</p> <p>⑥ グループワーク</p>			
6月25日① 9月15日② 9月26日③ 9月29日④ 10月9日⑤	12名	<p>滋賀県放課後児童支援員等資質向上研修会 C(継続 10年以上)ハイブリッド研修 滋賀県立男女共同参画セ ンター</p> <p>② 学童保育の生活づくり 講師：相愛大 北川健 次氏</p> <p>③ 障害児を受け入れるための専門的知識 講師：立命館大 田村和宏氏</p> <p>④ 障害児など配慮を必要とする子どもへの支援 講師：滋賀大 窪田知子氏</p> <p>⑤ 子どもの人権と倫理 講師：愛知県立大 久保田 貢氏</p> <p>⑥ グループワーク</p>		○	900
9月21日	3名	<p>滋賀県放課後児童クラブ施設長研修</p> <p>場所：ピアザ淡海 3F 会議室</p> <p>① 安全計画・事故防止マニュアルの策定について (行政説明) 説明者：滋賀県職員</p> <p>② 保育中の事故を防ぐために必要なこと(仮)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止マニュアルの活用方法 ・支援員同士の連携 ・施設長同士の意見交換等 <p>講師：特定非営利法人 放課後 NPO アフター スクール</p>		○	240

10月25～ 27日	3名	応急手当普及員講習 場所：湖南広域消防局西消防署		○	1440
11月13日	10名	防犯研修（実地訓練）草津警察署員2名 葉山東学童保育所			90
11月14日	9名	治田学童保育所			
11月14日	10名	大宝学童保育所		○	
11月16日	8名	大宝西学童保育所			
11月28日	67名	防犯研修（全体会） 講師：草津警察署署員 場所：栗東市総合福祉保健センター集会室			
12月7日	64名	「発達障害を持つ子どもの保育と支援について」 講師：発達支援課 巡回支援専門員 藤庭真也氏 場所：栗東市総合福祉保健センター集会室		○	90
10月～2月	延べ 100名	保育実践交流（100回） 場所：各学童保育所		○	1回 300
2月7日	47名	保育実践検討会 場所：栗東市総合福祉保健センター集会室		○	90

19. 共同募金運動（栗東市共同募金委員会）

○赤い羽根共同募金運動・歳末たすけあい募金運動状況

	赤い羽根共同募金運動	歳末たすけあい募金運動
募金運動期間	10月1日～12月31日	12月1日～12月31日
目標額	5,800,000円	3,000,000円
実績額（対予算）	4,507,217円（93.4%）	2,659,079円（88.6%）
（参考、4年度）	4,825,780円（93.9%）	2,779,457円（92.6%）

○関連会議の開催（いずれも、なごやかセンターで開催）

（1）理事会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和5年5月23日	理事 5名 監事 2名 職員 6名	第1号議案 令和4年度事業報告について 第2号議案 令和4年度収支決算について 第3号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】

12月12日	理事 監事 職員	5名 2名 8名	協議、報告事項 令和5年度上半期事業・決算報告、評議員会への提出案件について【了承】
令和6年3月19日	理事 監事 職員	7名 2名 6名	第4号議案 令和5年度補正予算について 第5号議案 令和6年度事業計画について 第6号議案 令和6年度予算について 第7号議案 評議員会への提出案件について 【全議案可決】

(2) 評議員会の開催

期 日	出席数	議 案 等
令和5年4月24日 【書面審議】	評議員 8名	第1号議案 理事の選任について【可決】
令和5年6月6日	評議員 7名 理事 2名 監事 2名 職員 6名	第2号議案 令和4年度事業報告について 第3号議案 令和4年度収支決算について 第4号議案 理事・監事の選任について 【全議案可決】
12月19日	評議員 8名 理事 2名 監事 2名 職員 7名	協議、報告事項 令和5年度上半期事業・決算報告【了承】
令和6年3月26日	評議員 8名 理事 2名 職員 5名	第5号議案 令和5年度補正予算について 第6号議案 令和6年度事業計画について 第7号議案 令和6年度予算について 【全議案可決】

(3) 監事会の開催（再掲）

期 日	出席数	内 容
令和5年5月12日	監事 2名 理事 1名 職員 5名	令和4年度事業及び決算監査（社協及び共同募金委員会）
11月22日	監事 2名 理事 1名 職員 6名	令和5年度上半期事業及び決算監査 （社協及び共同募金委員会）

(4) 募金運動検討委員会の開催

期 日	出席数	協議事項内容
令和5年7月6日	委員 7名 役職員 5名	令和5年度共同募金運動のすすめ方、共同募金を財源とした助成事業について

(5) 審査委員会の開催

地域で活動されている団体から、申請方式で提出いただき、地域福祉の推進に有効活用できるよう審査委員会で審議の後、共同募金・歳末たすけあい募金を財源とした助成を行いました。経費の一部を助成し、その活動の支援を行いました。

期 日	出席数	協議事項内容
令和5年6月12日	委員 9名 役職員 6名	審査基準について 「赤い羽根共同募金助成事業」申請団体について 64団体へ助成
12月8日	委員 7名 役職員 6名	「歳末たすけあい地域活動助成」申請事業（30団体へ助成）、「歳末たすけあい見舞金」申請者世帯（32世帯へ交付）についての審査

●滋賀県共同募金会主催研修会・会議への参加

期 日	内 容	場所等
令和5年 7月7日	市町共同募金会新任基礎研修会・会計基礎研修会	オンライン
12月19日	市町共同募金委員会事務局長会議	ピアザ淡海
令和6年1月24日	赤い羽根共同募金 市町共同募金委員会担当者連絡会	オンライン

募金付き自動販売機の設置（1事業所、株式会社ウミノ製作所）

20. 災害関連

●関連研修会・会議への参加

期 日	内 容	場所等
令和5年7月14日	令和5年度災害ボランティアセンターコーディネーター基本研修	草津市立市民交流プラザ

